

診療最前線

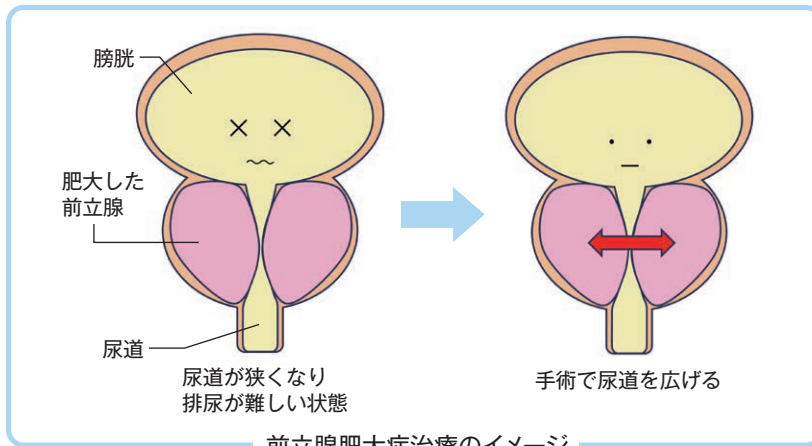
泌尿器科

前立腺肥大症の手術について

▼前立腺肥大症とは

「尿のキレが悪い」「夜中に何度もトイレに起きる」などの症状でお困りではありませんか。その原因の多くは「前立腺肥大症」で、70代男性の約7割の方に起こるといわれています。前立腺肥大症とは、加齢に伴い前立腺が肥大し、尿道を圧迫するようになった状態のことをいいます。スムーズな排尿を妨げるだけでなく、過活動膀胱（頻尿や尿失禁など）の症状も合併することが知られています。

症状の改善には、まず薬による治療から始めます。症状の程度や服薬後の効果を見ながら、複数の治療薬を組み合わせて使用したり、別の治療薬に切り替えたりするのが一般的です。それでも十分な効果が得られない場合には、手術による治療をお勧めします。



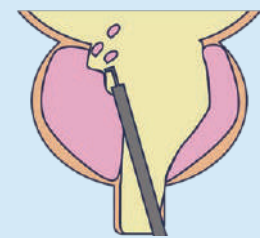
前立腺肥大症治療のイメージ

当院では前立腺肥大症に対する手術治療を数多く行っています。ここでは、手術の種類や特徴について紹介します。

▼経尿道的な前立腺

切除術

(TURP)

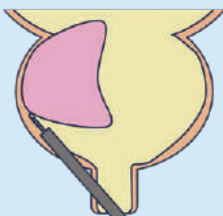


電気メスで肥大した前立腺を削り取る。
○ 一般的な手術方法。
× 出血が多く、体への負担が大きい。性機能にも影響。

経尿道的な前立腺切除術(TURP)

▼ホルミウムレーザー

前立腺核出術 (HoLEP)

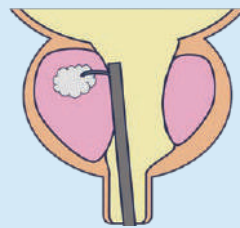


レーザーで前立腺をくり抜くように切除する。
○ 大きな前立腺でも少ない出血で手術ができる。
× 尿失禁や性機能障害等の合併症には注意が必要。

ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)

電気メスが付いた内視鏡を尿道から入れ、肥大した前立腺を少しずつ削り尿道を広げる手術方法です。ほとんどの方は症状が改善しますが、出血量が多いため体への負担が大きく、また射精などの性機能に影響を及ぼす可能性もあります。

▼経尿道的な水蒸気治療 (WAVE)



水蒸気を注入し前立腺を壊死・縮小させる。
○ 手術時間が短い。性機能温存も可能。
× 症状改善に時間がかかる。大きな前立腺には適さない。

経尿道的な水蒸気治療(WAVE)

従来の手術よりも体への負担が少ない治療法として、2022年に登場しました。これにより、出血のリスクが高い患者さんやご高齢の患者さんに対して手

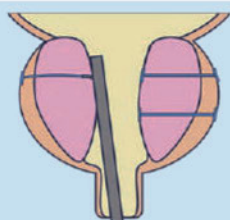
肥大した前立腺をレーザーでくり抜いて取り除く手術法です。TURPと比べて、大きな前立腺の手術に適しています。残存組織が少なく再発はほとんどありませんが、尿失禁などの合併症には注意が必要です。近年ではTURPの機会は減少しており、HoLEPが前立腺肥大症治療の主流となつています。2026年6月現在、北信地域では当院のみが行っている手術のため、県内外から多くの患者さんが受診されています。

術が行えるようになりました。

WAVEは、肥大した前立腺に高温の水蒸気を注入して、前立腺の組織を壊死^{えし}させる手術法です。手術時間が短い^{ため}体への負担が少なく、性機能への影響も少ないとされています。壊死した組織は体に吸収され、徐々に前立腺が小さくなつていきます。そのため、治療効果はつきり現れるには3ヶ月ほどかかり、その間は尿道カテーテルが必要になる場合があります。

▼経尿道的前立腺

吊り上げ術 (PUL) ピープル



インプラントを留置し、前立腺を吊り上げて尿道を広げる。

○手術時間が短い。性機能温存も可能。治療効果がすぐに現れる。

×大きな前立腺には適さない。長期的には再発リスクがある。

経尿道的前立腺吊り上げ術(PUL)

尿道に特殊な内視鏡を挿入し、金属と糸でできた4〜6個の医療器具(インプラント)を前立腺の中に埋め込みます。埋

め込まれた医療器具が前立腺を吊り上げて尿道を広げる治療法で、WAVEと同じく2022年に登場しました。治療効果がすぐに現れるため、尿道カテーテルを早期に抜去することができ、短い入院期間での治療が可能です。

また手術時間が短く、性機能への影響が少ないことも特徴的です。ただし、前立腺の大きさや形態によってはお勧めできない場合があります。

* * * *

「泌尿器科は、男性が受診するもの」と思っている方も多いかもしれませんが、当科は前立腺肥大症のような男性器に関する疾患だけでなく、腎臓・尿管・膀胱など尿に関わる臓器の疾患も診る診療科です。頻尿や尿もれといった尿に関する悩みや、血尿・膀胱炎・尿路結石などの症状でお困りの方は、男女問わず受診していただけます。

2026年4月より女性医師も着任しておりますので、お気軽にご相談ください。

(泌尿器科主任医師 青木彬鷹^{あきたか})